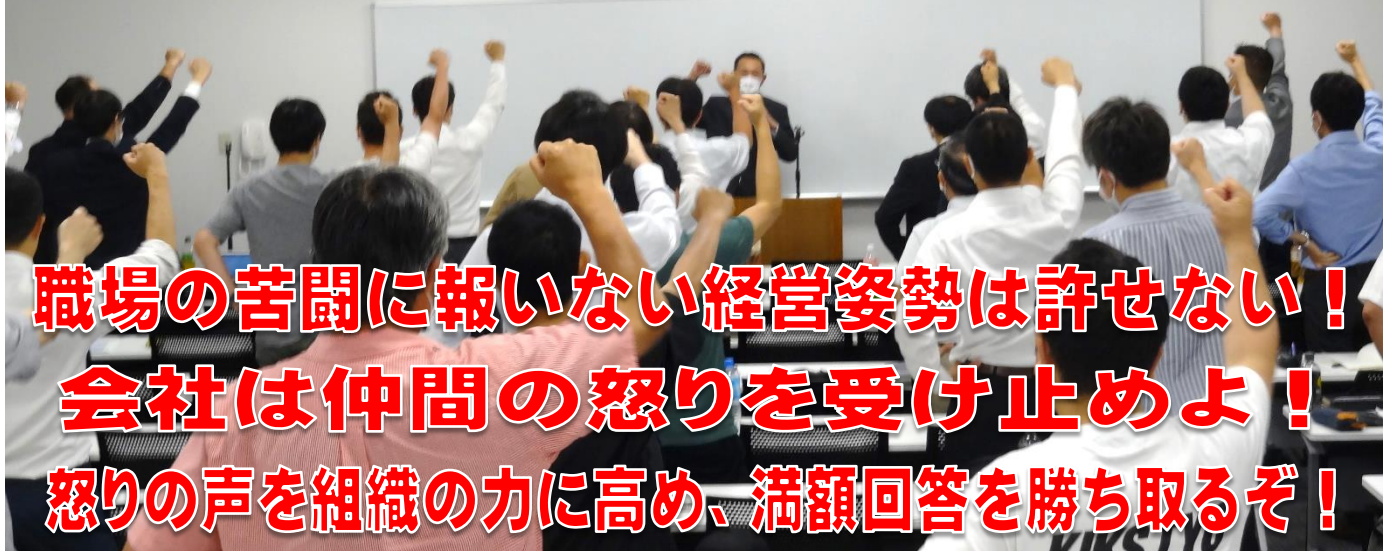




## 緊急全支部・全分会代表者会議を開催！



**職場の苦闘に報いない経営姿勢は許せない！  
会社は仲間の怒りを受け止めよ！  
怒りの声を組織の力に高め、満額回答を勝ち取るぞ！**

6月7日、夏季手当の会社回答を受け、レイボックホールにおいて緊急全支部・全分会代表者会議を開催し、申13号交渉の報告を行いました。緊急にもかかわらず多くの仲間が結集し、会社回答に対する怒りの声が多く出されました。

集会では本部より交渉経過や会社回答の報告を頂き、第2回交渉に向けて7300件を超える職場の声を基に会社と議論した。日本一の赤字から3期ぶりの黒字転換を果たしたのはコストダウンも含めた尽力であることなどを一致してきた。しかし会社は「目標未達」「楽観できない」「新たな定常状態＝定期収入が9割しか戻らない」等の回答を繰り返した。これが「最大限の回答」と言うなら到底納得できない事から、席上妥結できないと通告。本日の全地本代表者会議を経て、再申し入れを行った事が語られました。

参加者からは「到底納得できる回答ではない」「会社に期待しなかった分こんなものかと感じた」「最初、+5万円は労組として要求した成果と感じていたが、回答書を見てそうではないと思った」などの率直な本音や、職場の組合員・未加入者・社友会からの『少ない』『社友会の2.48ヶ月なんて聞いたことがない』（未加入者アンケートの回答で）最低でも2.8か月』などの怒りの声が出されました。また「コストダウンを行った苦労に対し、この回答では納得いかない」「株主配当や役員報酬はコロナ前に戻りつつあるのに、私たちの収入は戻らない」「回答書の中で感謝の言葉は3行しかない」など、働く者への苦闘に報いない会社姿勢に対する怒りも多く語られました。

このままでは黒字基調となってもコロナ前の支給水準に戻らないことが「新たな定常状態」になりかねません。職場の苦闘に報いない経営姿勢や、豊田運輸区や宇都宮運輸区で明らかになった人間破壊を行う会社姿勢を許さないため、「再申し入れのたたかい」を創り出すため職場の声を本部に届け、アンケートや檄 FAXなどを展開していくことを意思統一しました！

## 社員を大切にしない会社姿勢は許さない！

職場で出た怒りの声を「再申し入れのたたかい」に繋げ、  
満額回答を実現し、組織強化・拡大を勝ち取ろう！

